

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2022年 第44週（10月31日～11月6日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 増加」

第43週と第44週をあわせて報告する。

第43週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は984例であり、前週比13.4%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.98、1.28、0.60、0.47、0.28である。

第44週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,009例であり、前週比2.5%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発しんの順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.15、1.24、0.54、0.46、0.29である。

感染性胃腸炎は前週比9%増の422例で、中河内4.00、大阪市西部2.60、南河内2.31、大阪市南部2.28、三島2.24であった。

手足口病は3%減の244例で、南河内2.69、堺市1.68、豊能1.39である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%減の106例で、泉州1.84、中河内1.15、大阪市南部0.61であった。

ヘルパンギーナは2%減の91例で、北河内1.00、南河内0.69、泉州0.68である。

インフルエンザは346%増の107例、定点あたり報告数は0.36であり、堺市0.97、大阪市南部0.67、大阪市西部0.47であった。

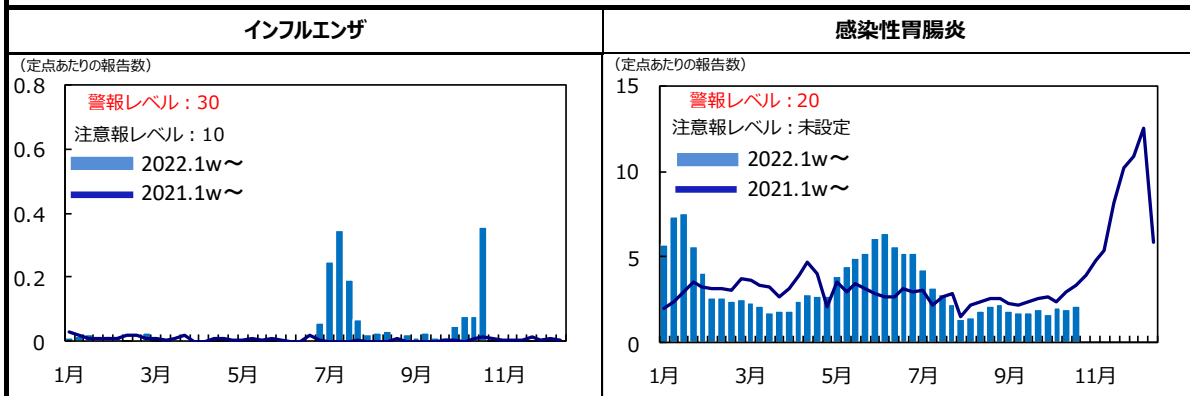


表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2022年 第44週10月31日～11月6日）

第44週の順位	第43週の順位	感染症	2022年 第44週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2021年 第44週の 定点あたり 報告数	2022年第44週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.15	9%増	3.29	1歳_15%
2	2	手足口病	1.24	3%減	4.27	1歳_42%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.54	9%減	0.43	4歳、10-14歳_13%
4	4	ヘルパンギーナ	0.46	2%減	1.22	2歳_27%
5	6	突発性発しん	0.29	47%増	0.37	1歳_73%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.36	346%増	0.01	20歳以上_21%

突発性発しんについて、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2022/23年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第44週のコメント

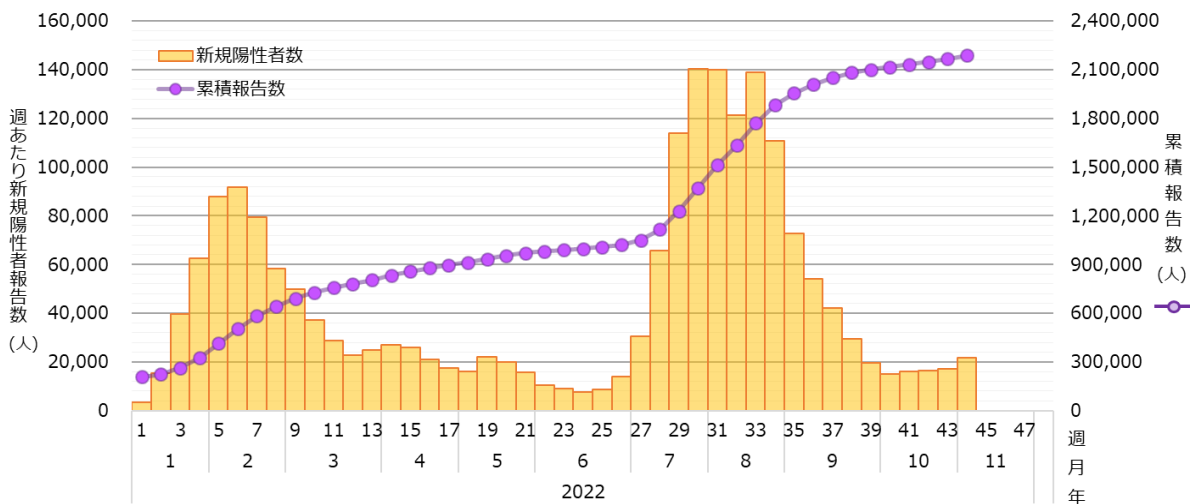
～新型コロナウイルス感染症～

基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

第44週の新型コロナウイルス感染症の週あたり新規陽性者報告数は21,860名であり、前週より27%増加した。大阪モデルは、11月8日に警戒解除（緑）から警戒信号（黄）に移行した。新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は飛沫・エアロゾル・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の肺炎症状が現れる。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、ワクチン接種、マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、隔離、接触者調査が重要である。



[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報\(国立感染症研究所\)](#)

[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)について\(大阪健康安全基盤研究所\)](#)

[新型コロナウイルス感染症関連特設サイト\(大阪府\)](#)

表2. 大阪府全数報告数（2022年 第44週10月31日～11月6日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内							報告数	府内累積	
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州			大阪市
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2								1	1	166
5類感染症	アメーバ赤痢	1	1									35
	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1							2		130
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1			31
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	1	1			1		1			81
	梅毒	13	1		1	1	1		1	8		1,455
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	21,860								2020年1月以降累計		2,187,515
結核 (2022年9月分)	結核 新登録患者数：56名									(内 肺・喀痰塗抹陽性 31名)		
										(府内累積報告数 806名、内 肺・喀痰塗抹陽性 308名)		

(2022年11月8日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『令和2年11月1日まで』と『令和2年11月2日以降』をご覧ください。](#)